



# 平成30年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

## 知財功労賞 特許庁長官表彰

### 知財活用企業(特許)

## 株式会社ダイセル

代表取締役社長 札幌 操

### 会社概要

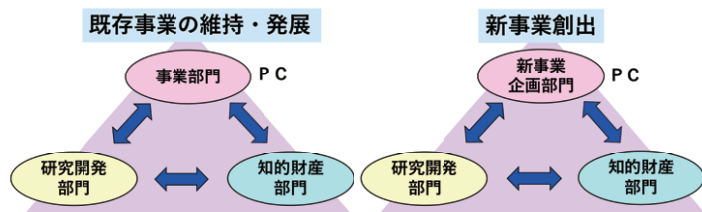
<https://www.daicel.com/>

所在地	大阪府大阪市北区大深町3-1
設立	1919年
資本金	36,275百万円
従業員	2,248人
事業内容	有機合成品、セルロース関連製品、樹脂製品、火工品の製造販売



### 受賞のポイント

- 知的財産権を事業に有効に活用するため、事業担当者・開発担当者・知財担当者による三位一体のチームで知財活動を行っている。事業テーマ毎に構成された各チームで、出願権利化から管理・活用・契約までを一気通貫で行い、各事業の責任者が知財活動チームの Patent コーディネーターとして知的財産権の取得・管理、ノウハウ管理及び知財情報を生かした新規テーマの策定等を行っている。
- 医薬品開発のために用いられる光学分割デバイスを産学連携により事業化し、グローバルな特許網や商標網を構築し、知財ミックスにより知的財産権を活用して競合他社の参入を排除し、世界でのビジネスシェアトップを確保している。
- 同社が特許権を保有する「知的統合生産システム」を多くの日本企業へライセンスし、化学プラントに代表されるプロセス型産業の生産革新として、品質安定化・省人化・低コスト化による生産性向上を実現し、国内産業の生産性向上による国際競争力の強化にも貢献している。



Patent コーディネーター(PC) を中心とする  
三位一体の知財活動チーム



光学分割デバイス(キラル分離)



知的統合生産システム(ダイセル式生産革新)